小中学校の適正配置に関する意見交換会　報告（上）

問合せ　学務課（内線373）

児童生徒数の減少を背景に、市教育委員会では、「笠間市立小中学校適正配置実施計画」の策定に向け、保護者や地域の皆さんに笠間市立小中学校学区審議会答申の内容を説明し、意見をお聞きしています。

開催内容の一部（第1回笠間小学校～第4回箱田小学校開催分）を紹介します。詳しくは、市または教育委員会ホームページをご覧ください。

■統合の時期について

意見　**適正配置の第1段階で「東小学校、佐城小学校、箱田小学校の3校を笠間小学校に統合することが望ましい」としているが、その統合の時期はいつなのか。**

回答　学区審議会の答申に対する保護者・地域の皆さんのご了解をいただいた上で、平成26年度を予定していますが、地区説明会の状況により平成27年度となる場合もあります。

意見　**平成26年度に統合となると、今の小学6年生が中学2年生になる。年頃の子にすれば制服や体操服、バッグがどうなるかが気になると思うので、不都合が出ないよう検討してほしい。**

回答　大事なことですので、ご意見を取り入れさせていただきます。

■統合方針について

意見　**地域の小学校や中学校がなくなってしまうというのは非常に寂しい気持ちである。学区審議会での検討は充分なされたとは思うが、佐城小学校を存続させるというような意見はあったのか。**

回答　当初はそういう意見もありました。しかし、東小学校が佐城小学校に来ても数年で子どもが少なくなり、また統合になるのであれば、初めから笠間小学校に行くほうがいいという意見がありました。そうしますと、東小学校が佐城小学校を飛び越えて笠間小学校に行くことになってしまいますので、佐城小学校を小規模校のまま残すのであれば統合した方がいいのではないかという結論になりました。30人の委員さんが12回の学区審議会で協議した中で、やはり複数の学級がある学校で学ばせたいという意見に最終的にまとまり、この答申となりました。

意見　**クラス替えができないことによって人間関係が固定化するというが、少人数の学校でも子どもたちはうまくやろうと工夫をしている。歴史ある箱田小学校をこのまま残してほしい。**

回答　学区審議会でも学校を残してほしいという意見をいただきましたが、最終的にはクラス替えができることが望ましいとする答申になったという経緯があります。教育委員会としては、これまで進められてきた議論の最終意見としていただいた答申を、最大限尊重したいという考えでおります。

■学校生活について

意見　**数十人しかいない子どもたちが数百人という学校に移ったとき、萎縮してしまう子もいるのではないか。**

回答　ご心配は分かりますが、子どもたちはそれほど弱くはなく、環境に順応することができます。ご意見のような子がいる場合は、学校側が個々にケアをしていくことになります。たとえば東中学校から高校に進学するように、子どもたちは大勢の人に出会う経験をどこかですることになります。

意見　**統合には賛成でも反対でもないが、1学年に数人しかいないことに対する子どもの寂しい気持ちは実感している。また、クラス替えがないまま社会に出てしまうことへの不安も感じる。**

回答　意見として伺いました。

意見　**学力は、少人数学習で行き届いた指導のほうが身に付くのではないかと思う。人数が多くなると指導内容がおろそかになり、学力の低下が心配される。**

回答　本市では、すべての小学校で少人数学習を取り入れており、2人の先生が授業を行うティームティーチングによって、途中でつまずいた子に対しても支援できる仕組みができています。また、笠間市の将来目標として、小学校で30人学級、中学校で35人学級による少人数学習を進めていきます。

■通学やスクールバスについて

意見　**東小学校を笠間小学校に統合することで通学距離が遠くなるが、その場合の保護者負担はどうなるのか。**

回答　東小学校から笠間小学校へは4㎞以上あります。法律上4㎞以上は遠距離通学になりますので、市が通学に対する配慮をすることになります。現在、「小学校遠距離通学費補助金等交付に関する規則」によって小学生の保護者への補助がありますが、中学生に対する補助はありません。

意見　**中学校が統合したときにスクールバスを出すということだが、大きなバスだけでなく、部活等に合わせてデマンドタクシーのような何人かで利用できるものも考えてほしい。**

回答　スクールバスの運行計画については、実施計画や統合に向けた準備作業の中で決めていきます。おっしゃられたようなことを充分に検討していかないと、保護者や地域の皆さんの合意も得られないと考えています。

意見　**スクールバスは民間委託と市運営のどちらを検討しているのか。**

回答　市運営にするのか、委託にするのかは、バスの購入も含めて経済性を比較して進めていかざるを得ないと思います。県内では民間委託が増えており、そのほうが安いという傾向はありますが、これから調査していきます。

意見　**スクールバスはどこまで運行されるのか。**

回答　ある程度まとまった場所から笠間小学校まで運行することになります。詳細については今後詰めていくことになります。

意見　**統合になるのなら、学区が違っても入学当初から笠間中学校や市外の中学校に入ることは可能か。**

回答　申請書を提出していただいて、それを教育委員会が認めた場合に可能です。指定校変更申請は市内の学校、区域外就学申請は他市町村の学校に行く場合です。ただ、中学校が統合になるなら先に行ってしまいたいという皆さんの気持ちは分かりますが、やはり統合した時点で笠間中学校に行くと考えていただきたいと思います。また、統合の場合、遠距離通学に対する配慮を教育委員会で提案していくことになりますが、統合前の対応はできません。現在でも指定校変更や区域外就学のお子さんは、保護者に送迎をお願いしています。

意見　**自転車や徒歩通学に比べ、バス通学になると子どもの体力づくりの面で心配がある。**

回答　ご意見のようなおそれも考えられますし、近年の生活パターンの変化による慢性的な体力低下も改善していく必要があります。文部科学省の新学習指導要領では、体育授業時数の拡充や中学校の武道必修化など、健やかな体を育成するための施策を定めています。笠間市においても、昼休み等を活用した体力増強策など、さまざまな施策について検討していきます。

■その他

意見　**統合された学校の跡地はどのように利用されるのか。廃墟になってしまっては困る。**

回答　跡地利用については今のところ白紙の状態ですが、何らかの方策を考えなければならないと考えています。

意見　**統合後、笠間小学校の放課後児童クラブに人数がいっぱいで入れないということがないようにしてほしい。**

回答　ご指摘のようなトラブルがないよう、事前に検討をしていきます。

意見　**昨年の大震災の際は、小規模な佐城小学校でさえも保護者への児童の引渡しは大変であった。統合となるとさらに人数が増えるので、子どもの安全を第一に考えた対策を進めてほしい。**

回答　子どもたちの安全・安心は学校の規模にかかわりなく必要なことです。子どもたちは学校にいれば安全だと保護者に認識してもらい、そして保護者が迎えに来られるようになってから迎えに来てもらうというシステムを作っていきたいと考えています。

意見　**保護者が意見を言える場はこの意見交換会と地区説明会になると思うが、状況に応じてそれ以外にも話合いをしていくことができるのか。**

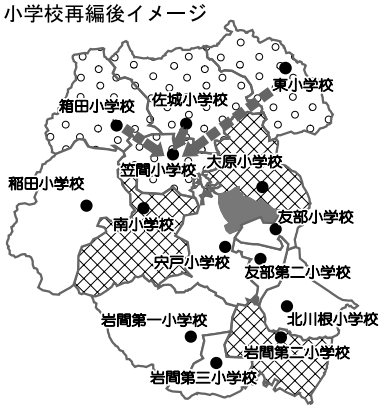
回答　ご要望があれば、いつでも実施いたします。

【経過】

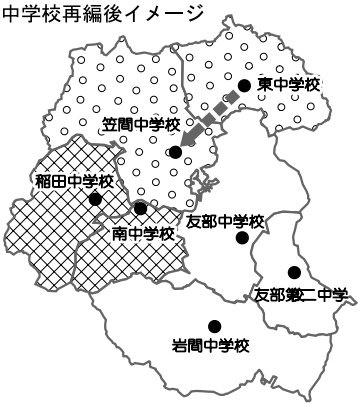
平成21年　11月	笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会に諮問
平成22年1～2月	市民アンケート調査実施
平成22年　9月	上記委員会の答申
平成22年　10月	「笠間市立学校適正規模・適正配置基本計画」策定
平成22年　12月	笠間市立小中学校学区審議会に諮問
平成24年　2月	上記審議会の答申
平成24年5～7月	保護者・地域の皆さんとの意見交換会
平成24年度中	「笠間市立小中学校適正配置実施計画」策定（予定）

【答申による適正配置方針】

小学校再編後イメージ



中学校再編後イメージ



第１段階（準備が整い次第統合を実施）

第２段階（段階的に実施）
小学校では新入児童数が２０人を下回る状態、中学校ではすべての学年で単学級の状態が継続すると判断される場合に見直しを開始する。

単独校

調整区域
鴻巣・南友部地区は従来どおり友部小学校と大原小学校のいずれかを選択できること、ベリオ・コリナ会区は宍戸小学校への通学が望ましい。